



地域おこし協力隊 活動状況報告



こんにちは。地域おこし協力隊(常室ラボ担当)の青木詔子です。8月前半はまさに夏本番といった暑さが続きましたが、今年は例年に比べると特に暑かったと伺いました。皆さま、体調を崩されたりはしなかったでしょうか?快適な夏を過ごせるはず!と想像していた北海道初心者のわたしは、連日の暑さに面食らってバテバテでした。過ごしやすくなってきた気候に安堵しながらも、短い夏がなんだか名残惜しい今日この頃です。さて、地域おこし協力隊に着任してからあっという間に5ヶ月が経過しようとしています。常室カフェで5月以降、毎月定期的にやってきたことといえば、旬の食材を使って限定デザートや限定ドリンクを提供するフェアが挙げられます。5月は愛媛県産の柑橘、6月は和歌山県産の青梅、7月は長野県産の杏、8月は道内(芦別市)産のさくらんぼの限定メニューをそれぞれご用意し、いずれもご好評をいただきました。毎回、自分たちも楽しみながら続けているイベントなので、今後もしも継続していき、驚きや楽しみをお届けしていければと思っております。

また、現在常室カフェでは通常営業時間外で8名様以上のご予約の方に、夜メニューのご提供も始めさせていただきました。お昼の営業時間とは異なったメニューを違った雰囲気でお楽しみいただいています。道外からのゲストのおもてなしの場として、職場の交流会の場として、特別な日のお祝いの場としてなど、色々な場面でご利用いただけたら嬉しいです。5月以降、そういったお声をかけていただくことも増え、常室カフェの新たな可能性の広がりを感じています。そして、6月と7月にはイベント出店をさせていただく機会もありました。6月は十勝女性大会の会場内でパウンドケーキとスコーンを、7月はうらほろこどもまつりの会場内で2種類のパンを販売しました。慣れないイベント出店には戸惑いや不安を感じたり、準備不足を実感



したりしましたが、周りの出店ブースの方々や顔見知りの方々に声をかけていただき、温かいサポートや心遣いに救われました。日々、様々なチャレンジの場をいただき、濃い時間を過ごさせていただいていますが、受動的にはなく能動的に活動していけることを少しずつ増やしていきたいと思っております。最後に、9月29日で常室カフェはオープンから1年を迎えます。なにかスペシャルなことを…とひそかに思案中です。どうぞお楽しみに。

- 地域おこし協力隊 青木 詔子(あおき しょうこ) 常室ラボ担当
- 浦幌町に来てから、ドライブがマイブームの1つになりました。道が広いので
- 運転していて楽しいです。季節によって移ろいゆく風景も日々楽しんで
- アブの体当たりにも慣れてきました。この道はここにつながっていたのか!
- といった発見もあり、色んな道を新規開拓中です。



■地域おこし協力隊の活動を紹介する隊員紹介Facebookページ
 ☆北海道浦幌町地域おこし協力隊 ⇒ <https://www.facebook.com/urahoro.chiikiokoshi>